

富山県医療計画＜救急医療＞への取り組み状況

現 状				課 題	主 な 施 策	今年度の実施事業	進捗状況および今後の取り組み	目 標 2017年																				
指 標	国策定時	県策定時	県直近																									
●救急要請から救急医療機関への搬送までに要した平均時間	38.1分 (H23)	29.3分 (H23)	29.9分 (H25)	■軽症(入院不要)の救急搬送患者が多い。 ■病院前救護を含めた、迅速な救急救命措置を円滑に行う体制の充実が必要 ■第二・三次救急医療機関の負担軽減を図ることが必要。	●救急医療の適正受診についての普及啓発 ●救急蘇生法講習の受講促進 ●ドクターカーやドクターヘリの検討 ●休日夜間急患センターの整備促進 ●医師会の協力による初期救急医療体制の維持	○救急医療キャンペーン、救急受診ハンドブック・ちらしの配布等 ○救急蘇生講習会の開催 ○高度救急医療提供体制検討会 <table border="1"> <tr><th>年</th><th>搬送者数</th></tr> <tr><td>H15</td><td>28,249</td></tr> <tr><td>H20</td><td>32,427</td></tr> <tr><td>H25</td><td>36,387</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><th>年</th><th>搬送時間</th><th>30分以上</th></tr> <tr><td>H15</td><td>24.8分</td><td>21.9%</td></tr> <tr><td>H20</td><td>27.2分</td><td>31.8%</td></tr> <tr><td>H25</td><td>29.9分</td><td>43.9%</td></tr> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ・搬送患者数の増加 ・搬送時間の長時間化 </div> ○高岡市急患医療センター (H26運営開始) ○新川医療圏初期急患センターの整備 (黒部市民病院・富山労災病院) (H27運営開始予定)	年	搬送者数	H15	28,249	H20	32,427	H25	36,387	年	搬送時間	30分以上	H15	24.8分	21.9%	H20	27.2分	31.8%	H25	29.9分	43.9%	○引き続き普及啓発活動が必要 ○全国を上回る参加人数 (H24実績16,374人) ○ドクターヘリ導入決定 (H27運航開始予定) ○初期急患センターの整備	●救急搬送患者の軽症者(入院不要)割合⇒低下 ●心肺機能停止患者の1か月後の社会復帰率⇒増加 ●第二・三次救急医療機関受診者のうち軽症者(入院不要)割合⇒低下 ●休日夜間急患センター(内科)整備医療圏数⇒4医療圏
年	搬送者数																											
H15	28,249																											
H20	32,427																											
H25	36,387																											
年	搬送時間	30分以上																										
H15	24.8分	21.9%																										
H20	27.2分	31.8%																										
H25	29.9分	43.9%																										
●住民の救急蘇生法講習受講者数	111人 (人口1万対) (H23)	165人 (人口1万対) (H23)	152人 (人口1万対) (H25)																									
●一般市民による除細動実施件数	1.1件 (人口10万対) (H23)	0.5件 (人口10万対) (H23)	0.8件 (人口10万対) (H25)																									
●心肺機能停止患者の1か月後の生存率	11.4% (H23)	10.1% (H23)	13.3% (H25)																									
●心肺機能停止患者の1か月後の社会復帰率	7.2% (H23)	7.6% (H23)	9.8% (H25)																									
●救急搬送患者数	3,918人 (人口10万対) (H22)	3,099人 (人口10万対) (H22)	3,364人 (人口10万対) (H25)																									
●救急搬送患者の軽症(入院不要)割合	50.4% (H22)	48.4% (H22)	44.8% (H25)																									
●救命救急センター受診者の軽症(入院不要)割合		70.5% (H22)	69.3% (H23)																									
●第二次救急医療機関受診者の軽症(入院不要)割合		77.9% (H22年度)	78.8% (H23年度)																									
●公的病院での救急科医師の必要数と不足数		必要数 14 不足数 6 (H23)	必要数 13 不足数 6 (H25)																									
●初期救急医療機関数	6.9施設 (人口100万対) (H23)	17.3施設 (人口100万対) (H23)																										
●一般診療所で初期救急医療に参加する機関の割合	16% (H23)	28% (H23)																										
●休日夜間急患センターが整備された医療圏		内科:3医療圏 小児科:4医療圏 (H24)	内科:3医療圏 小児科:4医療圏 (H26)																									